

沼津土木事務所都市計画課鉄道高架班だより

沼津発⇒未来へ



Facebookページも
「沼津発⇒未来へ」



平成28年9月26日 第18号
発行：静岡県沼津土木事務所



今月の1枝

”くるら戸田”

平成27年4月にオープンした「道の駅」です。広報紙も配架しています！

沼津の新しいまちづくりが始まっています。「沼津発⇒未来へ」は県と沼津市が共同で進めている鉄道高架事業を含む沼津駅周辺総合整備事業の進捗状況や最新の情報等についてお知らせする広報紙です。

■ 地域社会と新貨物ターミナルが共生するまちづくりを進めます

「新貨物ターミナル」が整備される原西部地区では、地域の方々との話し合いを踏まえ、新貨物ターミナルと共生したまちづくりを進めます。生活環境への影響を懸念される声に応えるため、今年度は現地の気温や風向、大気質などの環境基礎調査を実施する予定です。

● 地域社会と共生する「神戸貨物ターミナル駅」

神戸貨物ターミナル駅は、施設規模やコンテナ取扱ホームの形状、周辺に住宅があることなど、原西部地区に整備する「新貨物ターミナル」と類似点が多い貨物ターミナルです。

神戸貨物ターミナル駅の周辺には、マンションや学校、公園などがあり、地域社会と共生するため様々な周辺環境への配慮がなされています。



● 防音型フォークリフトの導入

エンジン周辺を防音材で囲んだフォークリフトが導入され、騒音を低減しています。



● ロングレールの採用

1本200m以上のレールが採用され、つなぎ目を減らすことで発生する音や振動を低減しています。



● 光が漏れない照明の採用

照射方向を限定した照明が採用され、周辺へ光が漏れないようにしています。



【裏面もご覧ください！】

■ 沼津市からのお知らせ

● 沼津情報・ビジネス専門学校の学生と沼津駅周辺のまちづくりについて考えました

将来のまちづくりを考える一環として、8月9日に「沼津情報・ビジネス専門学校」の公務員科の学生を対象に、事業説明及びまちづくりに関するグループワークを実施しました。

グループワークでは、鉄道を高架化することにより新たに生み出される高架下や鉄道跡地を活用した新しいまちのコンセプトや、中心市街地に導入したい都市機能について、大変活発な議論が行われました。

まちのにぎわいにつながる商業施設をはじめ、医療や子育て支援など暮らしに関わる機能について、多くのご意見をいただきました。

これらのご意見を参考に、今後も市では、鉄道跡地等の活用方法について検討を進めていきます。



市職員が事業の概要等を説明



県職員が鉄道高架の施工手順等を説明



グループワークの様子

■ インターンシップ(就業体験)

● 沼津土木事務所でインターンシップの大学生を受け入れました

8月15日からの2週間、インターンシップとして沼津市出身の大学3年生を受け入れました。

沼津駅周辺では現地を見ながら総合整備事業の概要説明を聞き、新貨物ターミナル用地では埋蔵文化財調査を見学しました。

また、原地区センターや商業施設への広報紙配架を手伝っていただきました。

インターンシップ終了後、学生から「沼津駅周辺の整備は中学生の頃から関心があり、事業内容を詳しく知ることにより興味を持った」、「連続立体交差事業をはじめ、土木の力で地域が発展することにとっても魅力を感じた」と感想が寄せられました。



広報紙配架



学芸員の説明

■ 埋蔵文化財調査の進捗状況

現在、新貨物ターミナル用地内にある中原遺跡で埋蔵文化財調査を行っており、人々が生活していた痕跡である住居址などが出土しています。



発掘調査の状況



住居内のかまどの跡



掘立柱の跡

静岡県沼津土木事務所 都市計画課鉄道高架班

〒410-0055 沼津市高島本町1番3号

TEL:055-920-2222・FAX:055-926-5527

E-mail: numado-toshikei@pref.shizuoka.lg.jp

URL: <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-830/kouka/>



沼津市沼津駅周辺整備部 推進課

〒410-8601 沼津市御幸町16番1号

TEL:055-934-4768・FAX:055-934-2310

E-mail: suishin@city.numazu.lg.jp

URL: <http://www.city.numazu.shizuoka.jp/shisei/keikaku/station/index.htm>